



長岡京市 第二期環境 基本計画

概要版

平成25年3月
長岡京市

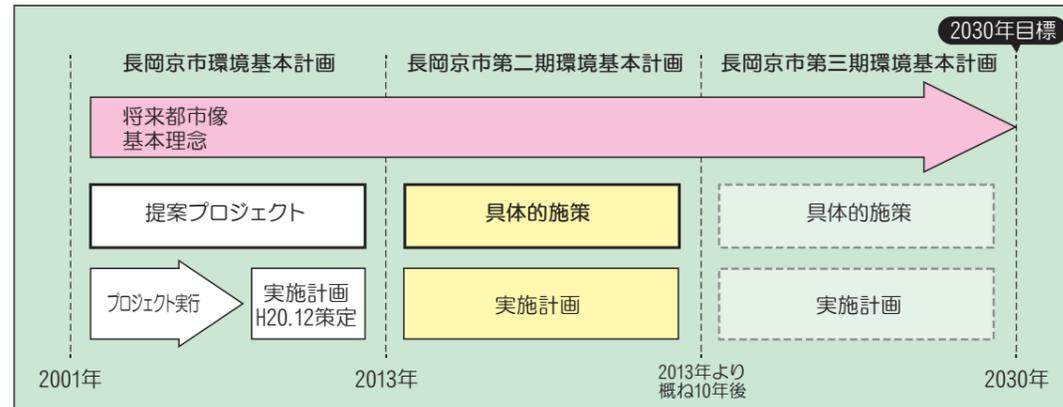
長岡京市環境基本計画について

1 計画の位置づけと考え方

長岡京市環境基本計画は、幅広い視点から環境をとらえた総合的な環境まちづくりのガイドラインであり、環境政策の基本指針として位置付けています。

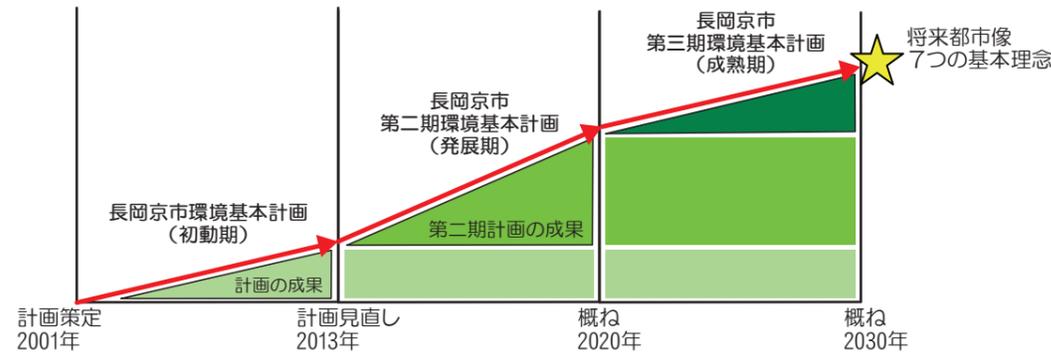
(1) 計画の期間

- ・計画年次は、概ね2030年を最終的な目標年次とし、必要に応じて逐次見直しを行います。
- ・2001年（平成13年）に定めた将来都市像、7つの基本理念の実現に向け、本市における、概ね今後10年の具体的な環境施策を定めます。
- ・計画の着実な実行に資するため、長岡京市第二期環境基本計画実施計画を作成します。

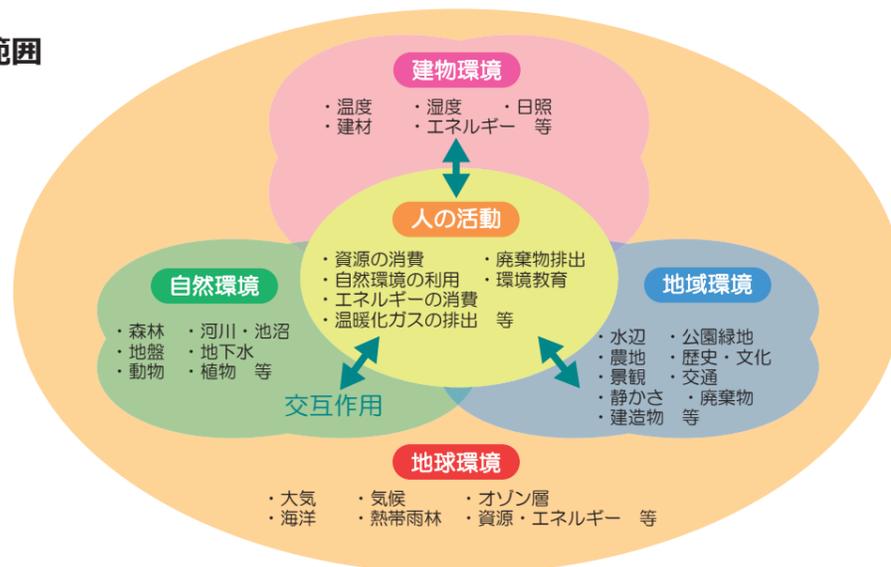


(2) 各期計画の成果イメージ

- ・長岡京市環境基本計画の計画期間である「初動期」で取り組んだ成果も踏まえ、大きな飛躍が求められます。



2 環境の範囲



3 めざすべき将来像



4 持続可能なまちづくりの基本理念

1. すべての施策・行動を持続可能性に基づいて策定し、総合化します

長岡京市のまちづくりの展開にあたっては、市民、事業者、行政はともに自らの活動及び事業全般にわたって環境と持続可能性に配慮した取組みを進めます。行政はすべての施策の立案及び事務事業に関して常に持続可能性を考慮した総合的な取組みを行います。

2. 環境と地域経済・雇用・生活の質の改善を両立させます

環境保全に積極的に取り組むことで経済発展、生活の質の改善、雇用創出を実現できる環境まちおこしに挑戦します。

3. 地域に固有の自然と文化を大切に守り、育てます

地域の生業や生活文化がもつ個性や、その基盤である自然生態系、ひいては人々の暮らしの多様性をすべて大切に守りつつ、地域がもともと持っている資源を活かしたまちづくりを進めます。

4. 社会的公正に配慮し、すべての人々と資源と環境を分かち合います

将来世代の子どもや孫たち、現在世代である途上国の人々や青少年や女性、障がい者など社会的に弱い立場にあるすべての人々、これまで社会的な意思決定に影響力を持てなかった人々との社会的公正に配慮したまちづくりを行います。

5. 資源・エネルギーが循環する地域をつくります

資源やエネルギーをできる限り地域内で完結し、循環させることは、外部への環境上の影響を最小限にするとともに輸送に伴うエネルギー削減にも貢献します。

6. みんなが参加して、いっしょに計画をつくり、実践します

すべての市民、行政、事業者及び団体組織が対等な立場で参加し、協力と役割分担をとおして計画の実行に取り組んでいきます。市域にある企業・事業所との連携を重視した環境への取り組みを進めます。

7. 持続可能な社会を実現するための教育、人づくりに力を注ぎます

計画をみんなで実行していくために、環境問題について真に理解し、生活や仕事の中で実践できる人材育成を進めます。特に環境まちづくりの中心となって行動するリーダーやコーディネーターを育てていきます。また、共通のビジョンに向かってさまざまな当事者・利害関係者が具体的役割を合意するための共有基盤をつくる環境学習も重要です。

基本方向

基本施策

指標

1. エネルギーを大切に
するまちづくり
を進めます！

10年後に望むまちや市民の姿
省エネの実践や再生
可能エネルギーを使
う市民が増える！

1. エネルギーを大切に
するまちづくり

(1) 再生可能エネルギーの活用

- ①家庭、事業所などへの再生可能エネルギーの導入
- ②公共空間における再生可能エネルギーの導入
- ③住民参加型再生可能エネルギー利用システムの導入
- ④地域特性等を踏まえた再生可能エネルギー導入の検討



長岡第七小学校の太陽光パネル

(2) 省エネルギーの推進

- ①エネルギー効率の改善
- ②持続可能型エネルギーシステムの地域モデルの開発
- ③省エネルギーの取組み拡大につながる広報・キャンペーンの展開



省エネ相談

(3) エコ建築の普及

- ①エネルギー効率の高い建築物の整備
- ②エコ建築普及につながる情報の発信
- ③建築物のエコ化につながる仕組みづくり

(4) エコ交通システムの導入

- ①公共交通利用の促進
- ②低公害車の導入
- ③自動車の排出ガスの抑制
- ④自転車利用の促進



長岡京はっぴいバス

平成34年に
再生可能エネルギー
の世帯当たり普及率
5%以上

を目指します。
(現状値：1.39%)

2. 資源循環型の社会
づくりを進めます！

10年後に望むまちや市民の姿
ごみの量が減り資源
の有効活用が進む！

2. 資源循環型社会の形成

(1) 廃棄物の発生抑制・再生利用の推進

- ①廃棄物の発生抑制
- ②廃棄物発生抑制、再生利用につながる広報活動の展開
- ③廃棄物減量等推進委員会の活動促進

(2) 資源回収の推進

- ①分別収集の促進
- ②市民が主体となった資源回収の支援



分別ステーション

(3) 廃棄物の適正処理

- ①一般廃棄物等の適正処理
- ②一般家庭用可燃ごみの収集
- ③粗大ごみの収集
- ④適正処理に向けた広域連携

(4) 水資源の有効活用・水環境の整備

- ①雨水利用の推進
- ②水を大切にするライフスタイルの普及啓発
- ③下水道事業の推進



サントリー提供雨水タンク

平成34年に
一人一日当たりの収
集ごみ量523g以下

を目指します。
(現状値：567.7g)

3. 自然環境を守り
ます！

10年後に望むまちや市民の姿
適切に維持管理され
た森林・竹林が増え
る！

3. 自然環境の保全

(1) 西山の保全・再生・活用

- ①西山の森林整備
- ②西山の生態系の保全
- ③西山の有効活用
- ④森林組合の育成



西山の全景

(2) 竹林の保全・再生・活用

- ①竹林の整備
- ②竹を活かした特産の調査研究



タケノコ

(3) 環境にやさしい農業の推進

- ①低化学肥料農業等の推進
- ②市民農園の充実
- ③地産地消の推進
- ④農地の保全



ふれあい朝市

(4) 水辺環境の保全・再生

- ①河川・水路の維持整備
- ②ホタル保護と育成

平成34年に
西山の森林のCO₂吸
収量1,300t-CO₂
以上

を目指します。
(現状値：1,150.77t-CO₂)

4. 快適な都市環境を
創り出します！

10年後に望むまちや市民の姿
緑が多く、環境に配
慮されたまちづくり
が進む！

4. 快適な都市環境づくり

(1) 身近な緑の保全・創出

- ①まちなかの緑の創出
- ②公園緑地の整備・維持管理
- ③緑の協会と連携した緑化の推進



バンピオ広場公園

(2) 環境に配慮した都市の整備

- ①中心市街地における環境配慮型の都市基盤整備
- ②歩行者優先の道路空間整備
- ③個性ある景観の保全・形成

(3) 歴史文化資源の保全・活用

- ①歴史的名所の活用
- ②歴史資料館の整備

(4) 環境美化の推進

- ①地域の清掃活動の促進
- ②散乱ごみのない美しいまちづくり



小畑川クリーン作戦

(5) 適切な環境管理

- ①環境調査の推進
- ②環境保全に係る啓発

平成34年に
住民一人当たり公園
面積の増加

を目指します。
(現状値：2.3㎡)

5. 協働・環境学習・
エコアクションに
自ら取り組みます！

10年後に望むまちや市民の姿
主体的に環境活動に
関わる市民が増え
る！

5. 協働・環境学習・エコアクションの推進

(1) 市民活動のサポート機能の拡充

- ①市民活動サポートセンター機能の拡充
- ②各種団体・サークル等の活動支援
- ③中間支援組織母体の立ち上げに向けたプラットフォームづくり



市民活動サポートセンター

(2) 環境を担う人づくり・人結び

- ①環境活動を担う人づくり
- ②グリーンコンシューマー活動の支援
- ③基金を活用した環境施策の展開
- ④環境地域通貨の導入

(3) 環境学習の推進

- ①環境学習の機会づくり
- ②西山を活用した自然体験学習の推進
- ③環境啓発型のイベントの開催、イベントへの出展



西山ファミリー環境探検隊



竹あそび

平成34年に
環境ボランティア養成
講座の延べ受講者数
の増加

を目指します。
(現状値：0人)

※指標の(現状値)は、平成23年度末の値

市民

事業者

市民団体

行政

協働で取組む先進的な市民活動プロジェクト

ステップアップ・チャレンジ ～次世代とともに未来を創る、Second Decade (次の10年間) の行動提起～

市民活動モデルプロジェクト

●環境学習プログラムと連動させた省エネ設備の普及

・自作LED街灯を用いた環境学習プログラムを発展させ省エネ照明の普及を図る



子ども達によるLEDの製作

●資源利用を前提とした里山の維持管理

・西山森林整備推進協議会と(独)森林総合研究所による「現代版里山維持システム」実証成果で新たな森林施業の確立を図る

●地域参加型環境学習プログラムの構築

・地域全体が児童や教師と学ぶ環境学習プログラムを市全域へ拡大する



薪ストーブのしば拾い

エコタウン・エコライフのシフトアップ!

再生可能エネルギーの積極的導入

- ◆再生可能エネルギーシステムの設置促進
 - ・住宅用太陽光発電システム設置補助事業の予算規模等を拡大する
- ◆公共施設への太陽光発電システムの市民と共同による設置
 - ・公共施設への太陽光発電システムを市民と共同で設置を進める
- ◆太陽光発電システムの新築住宅への設置促進
 - ・再生可能エネルギー設備の設置助奨を施工者等に求める



保育園の太陽光発電システム

効率的なエネルギー利用の促進

- ◆市民を対象としたエネルギーの見える化
 - ・市民団体との協働で市民を対象とした省エネ診断を実施する
- ◆公共施設におけるエネルギー利用の効率化
 - ・電力使用量削減に向けたデマンドコントロール装置の導入を図る
- ◆エコ交通システムの充実
 - ・阪急新駅の開業等に伴うエコ交通システムの整備やほっぴいバスの利用促進を図る
- ◆自転車道の整備
 - ・中心市街地での自転車道の整備により自転車利用を促進する



自転車道整備イメージ

エコを支える循環システムの導入

- ◆小地域での水の循環づくり
 - ・地下水利用等を進め環境意識の高いコミュニティの醸成を図る
- ◆環境地域通貨の導入
 - ・資源・エネルギー循環促進や再生可能エネルギー普及促進につなげる



小学校での井戸の設置

西山の魅力アップ!

「西山森林整備構想」の推進

- ◆森林・林道等の整備
 - ・西山森林整備推進協議会等との連携のもと、森林・林道、キャンプ場の整備を進める
- ◆木質資源の利活用
 - ・間伐材の燃料利用、竹のチップ化や竹炭化など木質資源の利活用を図る



西山キャンプ場

西山を愛する次世代の育成

- ◆小学校・市民団体と連携した西山環境学習の実施
 - ・市民団体との連携により西山をフィールドとした環境学習プログラムを実施する



西山環境学習

西山を守る市民活動の強化

- ◆森林ボランティアの体験・養成講座の実施
 - ・森林整備の担い手確保、整備の必要性の啓発を行う
- ◆森林ボランティア交流会の実施
 - ・森林整備に関する体験や情報を共有するため、地域内外の森林ボランティアとの交流・情報交換会等を開催する



森林ボランティア活動

環境づくりの市民力アップ!

環境づくり団体の活動の活性化

- ◆市民団体間・市民の交流の機会づくり
 - ・団体間のネットワーク強化と活動の活性化を図る
- ◆市民団体協働によるイベントの開催
 - ・市民団体の協働によるイベントを開催し市民団体の地力アップを図る



環境フェア

市民生活に身近な環境学習プログラムの展開

- ◆子ども環境フェスティバルなどの開催
 - ・子どもと大人が共に学ぶイベント等を開催し環境づくり活動の普及と意識向上を図る



子ども環境フェスティバル

環境づくり活動の中間支援の仕組みづくり

- ◆各市民団体サポートの強化
 - ・各市民団体等と連携し、環境づくりに係る市民団体活動の包括支援の仕組みを強化する
- ◆中間支援組織母体の立ち上げに向けたプラットフォームづくり
 - ・中間支援組織準備会を新たに立ち上げる
- ◆計画の推進体制づくり
 - ・行政と市民が共同で基本計画推進組織を新たに立ち上げる



“環境の都づくり会議”による省エネ相談

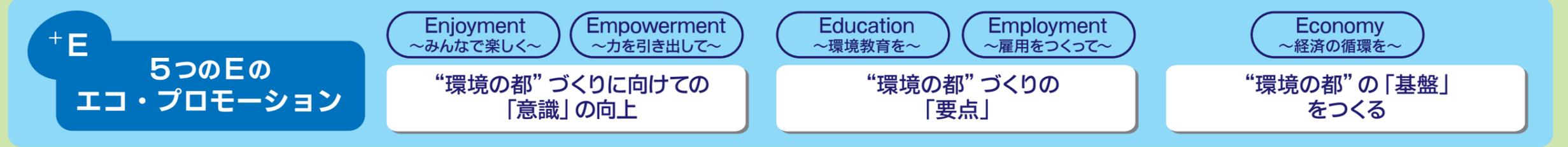
指標

平成34年に
再生可能エネルギーの世帯当たり普及率5%以上!
を目指します。
(現状値:1.39%)

平成34年に
市民参画による西山の森林整備面積250ha以上!
(現状値:207.42ha)
西山の森林のCO₂吸収量1,300t-CO₂以上!
(現状値:1,150.77t-CO₂)
を目指します。

平成34年に
環境に関するイベント等(長岡京市環境フェア、長岡京竹あそび等)に参加する市民数延べ80,000人以上!
を目指します。
(現状値:1.39%)

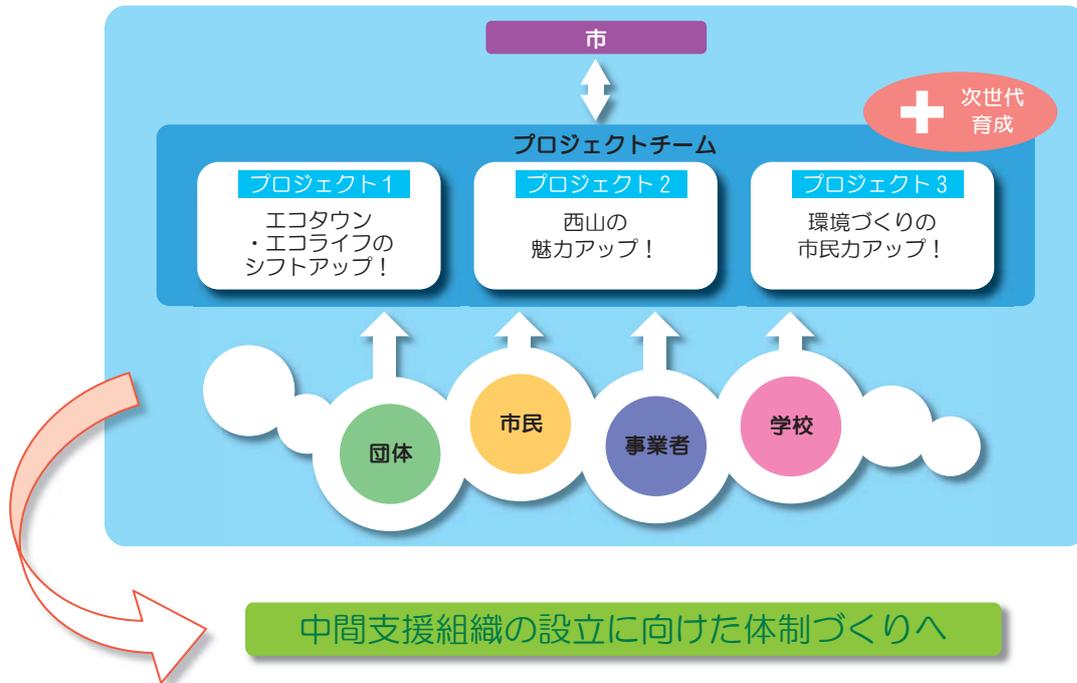
※指標の(現状値)は、平成23年度末の値



計画の推進

【“環境の都” ステップアップ・チャレンジの推進体制】

- ・市民との協働を軸とし、“環境の都”を引き継ぎ守る次世代を育成することを基調としています。
- ・市民団体等による「プロジェクトチーム」を設置することで、その主体的な活動の展開を図っていく体制を構築します。
- ・それぞれのプロジェクトの進捗のなかで、市内の環境づくり活動の中間支援を担う「ひと」と「ちから」が育ち、また将来的には組織の設立に向けた取組みを進めていきます。



【計画の進行管理】



- ・長岡京市生活環境審議会が計画の進捗状況を把握し、必要に応じて、市に施策の提言等を行います。

◆各主体の役割

